

1 キャンプファイヤー

～焚火を囲んでレクリエーションを楽しむ～

1 注意事項

- 薪が燃え尽きて火が消えるまで、火の管理をお願いします。
- すぐに火が消せるよう、バケツに水を汲んでおいてください。
- トーチは乾燥した竹でできています。キャンプファイヤーに点火後はすぐに先端のカップのボロ布をキャンプファイヤーの中に入れて、火から遠ざけてください。

2 期間 通年

3 目安時間（片付けを含まない） 1時間～

4 雨天時 雨の程度によっては可

5 場所 大門池広場・かがやきの広場



大門池広場、コンテナの奥に薪小屋があります。



キャンプファイヤー用の長薪は左側「乾燥中」の看板の場所のものを使って下さい。

6 準備物

- 自然の家にあるもの キャンプファイヤーセット（灯油、トーチ棒、皮手袋、バケツ、火ばさみ、長薪8本）
火の神衣装（3種類）・アンプ・マイク・コードリール・スコップなど
- 準備していただくもの 軍手・トーチ棒用の古布（フェイスタオル 1/4 枚くらい）・火をつけるもの

7 活動の流れ ※トーチ棒の使い方は別紙参照。

- ① トーチ棒先に古布を入れて、灯油を染み込ませる。※染み込ませすぎに注意
- ② 薪（長・短）、葉付きの枝や杉葉などを使って井桁を組み、灯油をかける。
- ③ トーチの布に火をつけ、井桁へ火をうつして点火。
- ④ トーチの布を抜き取り、井桁の中に入れる。
- ⑤ 焚火を囲み、レクリエーションなどを行う。



キャンプファイヤー用の長薪
4色ボールペン

8 片付け

- 薪を最後まで燃やし尽くしてから、掃除をする。
※営火場に水をかけてはいけない。
- 灰は指定のドラム缶へ捨てる。
※燃えかけの薪はドラム缶に入れない。
- 引率者が消火を確認し、ステンレスの蓋2枚をかぶせる。
- 道具を返却する。



9 イメージ写真



火の神の衣装(2種類 フリーサイズ)